

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
常滑市	常滑地区(北条区、瀬木区、奥条区、山方区)	令和3年3月31日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	99.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	50.1ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	17.4ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	14.4ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.9ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>○人に関すること そもそも中心経営体が少なく、その中心経営体も高齢化が進んでおり後継者がいない。新規就農者の確保が必要だが、農業に魅力を感じる人が少なく、機械が高いためある程度の資金が必要となるなどハードルが高い。</p> <p>○農地に関すること 遊休農地であっても農地を手放さない、土地持ち非農家が多い。</p> <p>○経営に関すること 機械の購入費や修理費が高い一方で、米の価格は安く元が取れない。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>常滑地区の農地利用について、田は5中心経営体、畑は6中心経営体が担う。現状担い手が不足しており、高齢化によって更に不足することが見込まれるため、新たな担い手の確保を進める。</p>
<p>あいち知多農業協同組合が長年に渡って計画的に集積・集約化を進めてきており、引き続きあいち知多農業協同組合を中心に地元や行政が連携して中心経営体への集積・集約化を推進する。</p>

(参考) 中心経営体

属性		中心経営体数	経営面積	
			現状	今後の農地の 引受意向
認定農業者	個人	7	8.4 ha	9.3 ha
	法人	0	0.0 ha	0.0 ha
基本構想到達者	個人	2	0.7 ha	0.7 ha
	法人	0	0.0 ha	0.0 ha
その他	個人	0	0 ha	0 ha
	法人	0	0 ha	0 ha
計		9	9.1 ha	10.0 ha

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

貸付け等の意向が確認された農地は、262筆、148,216㎡となっている。

農地中間管理機構の活用方針

農地中間管理機構を活用するため、高齢化等により農業をリタイヤする農業者の情報を収集し、出し手と担い手のマッチングを積極的に行う。

新規・特産化作物の導入方針

アグリズ常滑営農支援機構において推奨される品目の栽培を検討する。

担い手確保に関する方針

負担を減らすため機械のリース制度や儲かる農業を示して魅力を伝える方策を検討する。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
		貸付け	作業委託	売渡
1	北条区	3,169	0	7,507
2	瀬木区	16,753	0	21,880
3	奥条区	71,747	0	75,299
4	山方区	5,881	0	2,837
	計	97,550	0	107,523